

授業科目 フィジカルアセスメント

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	看護
本 間 千代子、長谷川 隆 雄 阿 部 明 美、石 塚 敏 子 他		開講時期	前期・後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【概要・一般目標：GIO】 看護に必要な情報を収集するための身体面、心理的面、社会背景の観察技術とメカニズムを理解し人間の日常生活や健康状態を評価するまでの過程を習得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. バイタルサインの測定ができる。 2. 看護面接の基本情報の聞き取りができる。 3. 頭部・喉・眼・脳神経の基本的観察と情報収集ができる。 4. 胸部・呼吸器系の観察と情報収集ができる。 5. 腹部（生殖器を含む）の観察と情報収集ができる。 6. 骨筋系・知覚・腱反射の観察と情報収集ができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	3～4週間を1ユニットとする。			PBLテュートリアル方式 オリエンテーション 学生個人による自己学習 学生グループによる自己学習 テュータ(教員)が技術のモデルを示す 技術演習 ビデオによる事前の自己学習 学生個人によるグループへの プレゼンテーション 基礎看護学担当教員が中心に行う	
2	前期3ユニット 後期2ユニット。				
3	自己学習とグループによる学習、週1回テュータがついた授業を行いながらユニット				
4	の課題を前期・後期5ユニットで実施する。				
5					
6	PBLテュートリアル、オリエンテーションを受け、学習方法、学習計画、運営の仕方				
7	を理解し実施していけるようにする。				
8					
9	ユニット課題				
10	1. 腹部				
11	2. 脳骨筋知覚				
12	3. 医療面接				
13	4. 呼吸				
14	5. 循環				
15					
16	上記5つの課題を実施し観察、情報の収集、実施技術ができる。				
17					
18	自ら調べそれをメンバーに発表し理解してもらう、またメンバーの調べたものを				
19	理解する。共有することで対人関係をきずきながら学習を効果的に進めていく。				
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		フィジカル・アセスメント 完全ガイド		藤崎郁	Gakken 2002・3,900円
参考書		入門人体解剖学		藤田恒夫	南江堂 2005・5,000円
その他の資料		フィジカル・アセスメント		小野田千枝子、高橋照子、 芳賀佐和子	金原出版 2005・3,800円＋税
【評価方法】 学習態度評価（学習態度自己評価も加味する）50% 知識テスト(後期)30% 技術テスト(後期)20% 終了時のまとめファイルとポートフォリオシートも含む		【履修上の留意点】 主体的に調べ学ぶ学習です。小グループ学習のため積極的な態度と出席は必須です。 メンバーの一員として力を発揮してください。			